





# 風が見える町 長尾町 ウォーキング MAP!

## 04 松林寺

創立不詳。延宝4年州山益和尚により開基。延宝6年曹洞宗大本山永平寺開山道元禪師より21代法孫、心月院第5世雪岸異白大和尚により開創。法孫は住職を継承し、仏祖釈迦牟尼大和尚より88代(松林寺23世)興法敏浩和尚に至る。大本山永平寺系心月院(三田市西山)の末寺で、本尊に華嚴釈迦牟尼如来、阿弥陀如来、観音菩薩、薬師如来を祭祀する。



## 05 茶臼山緑地(茶臼山城跡)

織田信長の命を受けた豊田秀吉により、天正8年正月、三木城は陥落する。別所長治氏の配下で、播州への拠点である茶臼山城の城主一蓮坊祐之は、家臣らの助命を嘆願して、妻女とともに自刃し、茶臼山城は無血落城した。上津台地区の開発により、城跡が公園化されるに伴い、地元有志が城主一蓮坊祐之の遺徳を偲び、本丸跡地に顕彰碑を設置している。



おすすめウォーキングコース ※ルートの詳細は QRコードでご覧ください 茶臼山緑地～神鉄横山駅

**Aコース** [約7.8キロ・2時間]  
神鉄道場駅⇒①八王子之宮神社⇒②宅原禪寺⇒③宅原一之宮神社⇒④松林寺⇒⑤茶臼山緑地⇒⑥大歳神社⇒⑦熊野神社⇒⑧多聞寺⇒神鉄横山駅

**Bコース** [約13.8キロ・3.5時間]  
Aコースの⑥大歳神社から長尾川沿いに上流をめざします。  
⇒⑥大歳神社⇒⑩長尾神社⇒⑪行者堂⇒⑦熊野神社⇒⑧多聞寺⇒神鉄横山駅



## 01 八王子之宮神社

かつて国道176号線道場町塩田の大阪街道沿いの天領(国有地)の中にあった。豊臣秀吉の東方征伐等により焼け落ち、氏子も宅原一之宮神社へ総合された。その後、地元にいるいろいろな災いがおこり、神罰を恐れた氏子により、現在の下滝ヶ谷の山の中に移転、鎮座された。そして、現在まで地元の氏神として祀り継がれている。



## 02 宅原禪寺

かつて国道176号線沿い四軒茶屋付近にあったが、豊臣秀吉による三木城攻略で焼失し萬久庵へ仮住まいした。萬久庵は天文7年、武田信虎の臣、馬場伊豆守虎貞の子、右衛門信直が現在地に創建したもので、天正10年に精舎を改築し萬休山宅原禪寺を再建した。その後二度改称を経て萬休山宅原禪寺となる。秋には全国から人形が集まる供養祭が催される。



## 03 宅原一之宮神社

創建年代不詳。その昔里人川原村主に示現し、素戔鳴命の神託により、蒲生の大池を開墾し田畑とした報恩として社殿を造営し、素戔鳴命を祀ったとされる。天正11年、武田晴信の臣、馬場信直が社殿を改築、一之宮大明神と崇め奉る。明治6年には、近隣の大歳御祖神と八王子命を合祀し、現在、7社を祀っている。



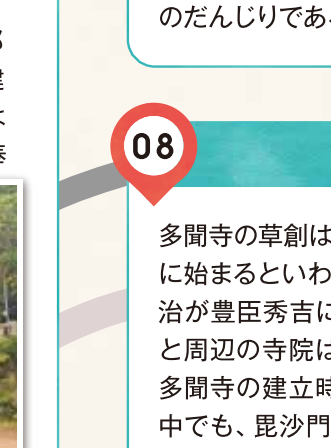
## 06 大歳神社

建年不詳。永正年間に改築した記録があることから創建はその以前と考えられる。秋祭りには曳きだんじりが出され、こども神輿とともに巡行する。宮入り後は、境内狭しと曳きだんじりらしい重量感ある曳き回しが行われる。氏子たちの努力で継承されてきた上津のだんじりは、長尾町内に残る唯一のだんじりである。



## 07 熊野神社

創建年月不詳。天保15年再興。伊邪那岐命・伊邪那美命を祭神として祀り、昭和7年拝殿、幣殿、付属建物の改築工事竣工。五穀豊穡を祈祭する秋祭りには約300年の伝承を続けている「神楽・獅子舞」が奉納されており、平成9年神戸市の「無形民俗文化財」に指定されている。また、1月19日の境内社八幡宮の厄除祭は大勢の参詣人で賑わう。



## 08 多聞寺

多聞寺の草創は、7世紀の中頃に建立された長光寺に始まるといわれる。天正年間に三木城主別所長治が豊臣秀吉に背き、別所方の寺院だった長光寺と周辺の寺院は焼かれ、廃寺となる。明治28年、多聞寺の建立時、周辺寺院の仏像も収容されその中でも、毘沙門天立像と吉祥天女立像、地藏菩薩立像の3体は、国の重要文化財に指定されている。

